



Taiwan Innotech Expo

台灣創新技術博覽會

台湾の次世代オンライン展示会開催

14日から開幕、世界中の最新技術が競演

10月14～23日にかけて、台湾の次世代技術展示会「Taiwan Innotech Expo (TIE) 2021」が、オンラインで初開催される。DX（デジタルトランスフォーメーション）、宇宙、健康、材料、農業、脱炭素社会など、約1000の最新技術が24時間バーチャル展示されるほか、6つの主要テーマについての紹介と数百のオンライン技術発表が予定されている。オンライン開催にしたことで、出展者と訪問者がより安全かつ便利にコミュニケーションが取れるようになった。コロナ禍で海外渡航が制限される中、日本にいながら海外企業の技術に触れ、新規に取引関係を持つ絶好の機会といえる。入場無料。台湾經濟部、国防部、教育部、科技部、行政院農業委員会などの主催。＝関連記事9面に

TIEは、各省庁が年間を通じて支援してきた台湾内外の企業の中から、とりわけ技術力や独創性が優れた企業を選び、展示や販路開拓の機会を創出するために毎年開催しており、今年で4回目。

アジアや欧州、それに日本のベンチャー企業なども参加。国際展示エリアでは、米、日、独、荷、東南アジアなどから計99社、200以上の技術がオンライン出展する。

今回は「Innovation Pilot（創新領航）」「Future Tech（未来科技）」「Sustainability（永續發展）」の3テーマに分け、出展企業の展示を閲覧できる。セミナーなどのイベントも行われ、事前登録で参加可能だ。

すべての展示・セミナーは原則、中国語もしくは英語だが、日本語の技術発表セミナーもある。

■県内企業も参加

今回、台湾經濟部中小企業処の支援企業からは計18社、23の技術が「Innovation Pilot（創新領航）」パビリオンに出展する。

国内外約300カ所の工場などで導入されているスマートカーテン技術を持つ彬騰企業（Bintronic、高雄市）や、飲食業での活用が広がる鉄道型ロボット「ロボレール」を開発した



オンライン展示のイメージ

鴻匠科技（台中市）のほか、家庭用掃除機の2.7倍の真空圧を実現する旅行用の超小型空気圧縮機を世界26カ国に展開している創意興業（台北市）などが展示する。

一方、日本企業では、NTTデータ（東京都）やバカン（同）のほか、県内からは磁気データ消去装置のリ・バース（川崎市川崎区）、超音波バリ取り洗浄装置のブルー・スター R&D（相模原市中央区）の計4社が出展する予定。

主催側の担当者は「世界中の高い技術を持つ、選ばれた企業の技術に出会えます。興味を持った企業に対しては、商談申し込みも可能です」とアピールしている。

なお、昨年のリアル展示会は9月24日から3日間、台北世界貿易中心（タイペイ・ワールド・トレード・センター）で開かれた。コロナ禍の影響を受けながらも、国内外から35カ国390社、529ブースの展示があり、累計5万3000人が来場した。



出展企業を応援する經濟部中小企業処長官・何晉滄処長（中央）
＝2020年のリアル開催の様子



出展企業のAIジムマシンを体験する吳政忠行政院科技會報副召集人
＝昨年のリアル開催の様子



TIE公式HP



展示会参加はこちら

この企業
に注目！

精呈科技 (EXCETEK)

スマートワイヤ放電加工機を展示

tie Virtual
Taiwan Innotech Expo

今回の出展企業の注目は、精密放電ワイヤ放電加工機メーカー、精呈科技（台中市）だ。大手ワイヤカット放電加工機で30年の経験を持つ日本人技術者の松尾義侃氏が台湾技術者たちと2006年に設立した。「EXCETEK（エクセテック）」のブランド名で世界36カ国以上に展

開している。

小型から大型まで、標準モデルだけでなくオーダーメイドの特注設備を年間約300台販売。航空や自動車産業向けなどを中心に普及させている。

特に日本でニーズが高いのは、厚板加工1000mmまで可能な「V-

12100」や、長さ2mの長尺ワークも加工可能な「V-2000」などの大型・特殊シリーズという。

また、欧州向けでは顧客からの特殊なニーズに対応した特注設備も手掛け、これまで10人がかりで30台の機械で加工していたものが1台で可能になったケースもある。

今回、同社が主力展示するのは、ワイヤ放電加工機「NPシリーズ」。ITRI（工業技術研究院）と提携開発したリモートモニタリングシステム「E-LINK」と同加工機を接続すれば、パソコンやスマートフォンなどのネットワーク上で生産管理ができるという。

「コストダウンのためにはどう加工していくか、情報を管理するものです」と、張瑞成・総経理。加工機設備の一覧、稼働状況、メンテナンス状況などをオフィスで閲覧でき、工場内の他社製加工機も接続可能としている。



同社の張瑞成・総経理



日本でニーズの高い大型・特殊シリーズ